

令和6年度通学路安全対策推進モデル地域研究事業の取組

伊予市教育委員会

1 取組の目的

拠点校において通学路の安全確保に向けての取組を充実させ、その成果を市内小中学校の教職員や保護者と共有し、伊予市内全域の更なる安全教育の充実に努める。

2 取組の内容

(1) 通学路班会（拠点校 北山崎小学校）

実施日 5月15日（水）

実施内容 ICTを活用した班長による危険箇所の確認



(2) 第1回実践委員会

実施日 6月21日（金）

実施内容 事業内容の説明と計画の検討、拠点校の実態の確認



(3) 合同点検 7月31日（水）（拠点校 北山崎小学校）

点検箇所 5箇所

実施内容 警察署、国土交通省河川事務所、中予地方局、伊予市土木管理課等が参加し危険箇所の修繕に向けた協議



(4) アドバイザー派遣事業（拠点校 北山崎小学校）
（学級活動「通学路の安全な歩き方を考えよう」）

実施日 9月24日（火）

実施内容 データに基づく身の回りの危険についての理解、自身の通学路の状況と適切な対応について



(5) 第2回実践委員会

実施日 12月3日（火）

実施内容 拠点校での実践報告、今後の見通しと対策について



3 取組の成果

本市では、地域との連携・協働により「通学路見守り隊」が構成され、児童生徒の見守り活動が定着している。その際に、年度当初に児童との顔合わせ等を実施し、児童との関係づくりを行っている。拠点校北山崎小学校では、年度始めに通学班長会を行い、ICTを活用し通学路安全マップを作成した上で、危険箇所の把握や事故に対する危機意識の高揚を図った。また、校区内で交通事故の発生について保護者からの情報を収集し、共有アプリを活用して児童の安全に対する環境づくりに役立てた。

今後は、児童生徒の安全確保のための学校運営協議会等で協議し、より効率的なシステムの構築を市内すべての小中学校で行いたい。また、危険箇所の把握に向け、市政策企画課の伊予市LINEアプリを運用し、効率化や記録の蓄積を図っていききたい。

4 今後の課題

今回のモデル事業で得た取組の成果をモデル地域以外の小中学校と共有し、伊予市内の児童生徒が安全に登下校するだけでなく、安全に対する資質・能力を育む取組を推進していききたい。また、小中学校が連携し系統的な取組となるように情報の共有を図っていききたい。